

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-387-1491

年度	平成23年度		
施設名	水の駅「ビュー福島潟」他2施設	所管部・課	北区地域課
施設の設置目的	福島潟の自然保護のための情報発信施設 福島潟の自然と文化に触れあい、自然の大切さを学習する施設 水の公園福島潟の管理施設		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H23.4.28
歳入	20,119	正職員	5	修正日	-
歳出	80,099	非常勤	5	評価日	-

No.	視点	目標	評価指標				参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H21実績	H22実績	H23目標				
1	市民	広報の充実	ホームページアクセス件数年間50,000件以上	48,000件	57,000件	60,000件	自然情報の更新を適時行い、魅力あるホームページを作成し、自然保護のための情報を発信する。	・ホームページの自然情報を毎週更新		
2	市民	基準利用者数の達成	入館者数年間48,000人以上	48,672人	47,455人	48,000人	当館の入館者数は、天候や社会情勢の影響を受けやすいが、過去の実績以上を確保していく。	・各種イベントの開催 (菜の花まつり、自然文化祭、田んぼアート、写真展など)		
3	市民	各種サービス別満足度	企画事業に対する感想「満足」以上が70%以上	92%	95%	95%	事業内容の検証を行い、より満足度の高いサービスの提供を行うため、満足度70%以上としている。	・各種イベントにおけるアンケートの実施 ・窓口等にアンケート用紙を常設		
4	市民	苦情要望に対する対応	苦情・要望は速やかに対応	速やかな対応ができた	速やかな対応ができた	速やかに対応する	利用者のニーズに即応した体制づくりをすすめ、利用者の満足度を高めていく。	・苦情処理担当者の指定と職員間の情報共有化		
5	財務	管理運営経費の節減	管理運営経費を年間19,000千円以下	18,948千円	19,792千円	19,000千円	高熱水費・施設維持管理委託料に関する経費で、過去の実績に基づき目標額を設定した。	・節電の徹底 ・排煙設備を利用した、室内温度管理		
6	財務	歳入の増加	使用料収入を年間7,000千円以上	7,375千円	7,336千円	7,336千円	過去の実績に基づいて目標を設定し、財政負担軽減を図っていく。	・各種イベントの開催 (菜の花まつり、自然文化祭、田んぼアート、写真展など)		
7	業務	安全確保体制の確立	避難誘導訓練等を年1回以上実施	情報伝達訓練、避難誘導訓練	応急対応訓練(AED)、防災設備点検	初期消火訓練、避難訓練	災害時における利用者の安全確保のため、年1回以上の各種訓練を行う。	・消防署の指導による防災訓練の実施		
8	業務	市民団体との連携	各種市民団体と共催した事業を年5回以上実施	共催事業5件	共催事業8件	共催事業8件	自然保護をより実践するため、各種市民団体と協力していく。	・田んぼアート ・写真学校 ・まこもの植栽事業 など		
9	人材	情報の共有化	毎日ミーティングを実施	毎日実施した。	毎日実施した。	毎日実施	サービスの質の確保のため、職員間の情報共有を徹底するもの。	・開館前のミーティングを実施 (職員及び清掃等業務受託者が参加)		
10	人材	自然指導員人材育成	自然保護のための職場内研修を年4回以上実施	3回実施した。	4回実施した。	4回実施	自然情報に関する知識習得のため、季節ごとに職場内研修を行う。	・福島潟の自然分野ごとに職員を講師に指定した研修会 ・外部講師を招いた研修会		

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
ビュー福島潟は、自然保護のための情報を発信していく施設であることから、福島潟の動植物の調査を行い、入館者に自然の大切さを伝える使命を担っています。 そのため、魅力ある企画事業を実施すると共に、入館者が求める情報をタイムリーに提供していく体制づくりを主な目標設定としています。	